

# 生

# 活

## だより

登別市立若草小学校

生徒指導部

令和4年7月6日 第5号

## 七夕～地域を回るのを控えましょう～

明日は七夕です。例年であれば、若草の子どもたちも町内のお宅を訪問し、ろうそく（最近ではお菓子）をいただいて回るなど、七夕の日を楽しむ姿が見られます。

昨年はコロナウイルス感染症対策として、町内を訪問するのを控えるよう声をかけました。依然として北海道の感染状況は収束しているとは言えない状況ですので、感染防止に最大限努めていく必要があります。また、地域でも感染に気を付けていることだろうと思います。さらに、様々な変異株に置き換わっていく恐れもあり、「どこで」「誰が」感染のリスクを背負っているのかわかりません。そういった環境の中で今年も様々なイベントが中止・縮小になっている状況です。

**共通認識として、七夕の日に家庭や店舗を回るのは控えましょう。**  
それが、お子さんや家族、地域の安全性を高めることにもつながります。  
(お願い事について家族でお話してみるのはいかがでしょうか?)



**1日に少しでも読書しましょう。**  
**～学びと本を読むこと～**



学校では、児童に読書の機会を作り、活字に触れるように声かけをしています。朝読書や図書委員会の企画「読書の木」や昨年度中止で、今年度の夏休み実施予定の「読書感想文」なども行っています。また、学力テストの質問紙でも「自宅にどのくらいの本がありますか?」と聞かれるほどに、学習と読書には関係性が認められています。

新興出版社(啓林館という教科書やドリルを作っている会社です。)のサイトに書いてあることを少しご紹介します。

### 【読書による効果】

- ① **集中力**が養われる。
- ② **他者の気持ち**を考えることができる。
- ③ **言語能力**を養うことができる。

●1日の読書時間が長い小学生は、集中力があり、**成績が良い傾向にある。**

●小学生から多くの単語や漢字に触れることで、**読解力が身に付き、語彙力も向上する。**

賢い小学生が読書をしているのではなく、読書をするから賢くなる可能性があるそうです。学校でも読書の機会の確保をしていきますが、家庭でも読書について話題に取り上げていただければと思います。